



新 瀬
聞 谷



Baronちゃん

(株)瀬谷新聞店 せやTOWN編集室
〒322-0021 鹿沼市上野町122-1

毎月20日発行

TEL : 60-2855 FAX : 64-7255 URL : http://www.seyashinbun.com/

毎 日 新 聞 安 塚 販 売 所

瀬 谷 新 聞 店 鹿 沼 店



フラワーアレンジメント教室

5月16日(土)、当店主催の大好評企画『第4回フラワーアレンジメント教室』を行いました。
今回も講師には、鹿沼市東町にお店を構える(有)マーサーズ代表、小太刀昌子先生をお迎えし、ケーキフラワーをアレンジしました。またこの日は、鹿沼ケーキブテレビの取材も入りしました。
「ケーキフラワー」という事で、デコレーションケーキをイメージし、ホイップクリームに見立てたカーネーション、苺に見立てたバラ、苺の葉に見立てたアイビーを材料に使用しました。
四角型のオアシスをケーキのホールに見立てて丸く切り、それぞれの花をバランスよくオアシスに挿して



素敵なフラワーケーキが出来ました♪



今回初めて参加した女性は「楽しく、可愛く出来て嬉しいです。せっかくなので日頃お世話になっている人へプレゼントしようかな」と笑顔で話してくれました。

企画として毎回アレンジメント終了後にテイータイムを設けています。完成した花を囲み、先生と参加者の方たちとの優雅な時間を過ごせるのも楽しみのひとつになっています。

いき、思い思いの可愛らしいケーキフラワーが完成しました。

かき氷が
ホイのひがひが



マミーズ こちそう アレンジメント

その11

★今回の料理に使用したスープ皿を抽選で一名様にプレゼントいたします★

〈応募方法〉
ハガキに住所、氏名、電話番号、を記入し(株)瀬谷新聞店までお申し込み下さい。なお、当選者様の発表は発送をもって代えさせていただきます。

土用の丑のアールズツペ

【作り方】
①玉ねぎ、鰻の白焼きを食べやすいサイズに切る。(野菜は何を入れてもOK)
②鍋に1とコンソメスープを入れ、煮立たせる。
③別の鍋で青菜(今回はかき菜)を茹でる。
④2は塩、コショウで味を調べて、3を加える。
⑤スープ皿に鰻とスープをたっぷりとよそって青菜を添えたら完成。

今年の土用の丑の日は7月24日です。夏の暑さが最も厳しいとされる時期に食べる鰻は最高ですね。
皆さん、世界の国々でも鰻が食べられているをご存じでしょうか？
ところで、ドイツでは7月に、キンダーツェツヒェという子供のお祭りがあります。このお祭りは、三十年戦争の最中、侵攻してきたスウェーデン軍に子供たちが「街を壊さないで」と懇願し、スウェーデン軍の大佐がその中の子供に自身の子供の面影を覚え、侵略を思い留まったという逸話にちなみ、街の人々が負傷兵や、当時の市民に扮し、パレードを行い、子供たちへお菓子などを配るというものです。
そんな、ドイツ・ハンブルグの名物料理にもアールズツペと言う鰻を使った料理があり、郷土料理として多くのドイツ人に親しまれています。今回はこのアールズツペに栃木の新鮮な野菜を加えてアレンジ。
今年の夏は、異国の勇敢で暖かい心の子供たちを想いながら、熱いスープをすすり、暑い夏の侵略をくい止めませんか？

器:高島まゆみ レシピ・文:高島あかり

FANTASISTA
2015年6月28日(日)
遊幻空間 第15回公演
開場:鹿沼市民文化センター 小ホール
▼料金前売一般1,000円/学生800円▼当日一般1,500円/学生1,000円※小学生無料(未就学児の入場はご遠慮ください)▼問-090-4840-4537(藤田)/fsat.omi.k.cha-ko@docomo.ne.jp【STORY】1863年、サモトラケ島の海中から頭と両腕のない女神像が見つかる。ギリシャ神話の勝利の女神像、ニケ。事の発端は平和祭前夜。完成間近の女神像。ニケ像を作っている男と、それを見つめる女。そして死を告げる天使。一度は別れ、それでもまた再会する時、その場所は、あの頃のあの場所とは変わっていた。不思議に包まれた、ある1日から全てが始まる。作・西田大輔(A ND ENDLESS) 脚色/演出・川崎雅彦

3種類の
~サクソフォンのしらべにてのせて~
コンサート&ショートメッセージ
2015年8月1日(土)
【場所】鹿沼市民情報センター5F マルチメディアホール
▼鹿沼市文化橋町1982-18▼入場無料/事前の申込必須(定員100名)定員になり次第締切▼乳幼児入場不可▼問-090-9384-0318(荒川昌子)/marakawa1213@gmail.com▼主催:かぬまブレイズ
サクソフォン演奏&講師:岸藤 紘(よしひろ)
【プロフィール】1941年東京都生まれ。2011年タワーレコード渋谷店で一般デビュー。独自のスタイルを持ちコンサートではテナー・アルト・ソプラノの3種類のサクソを吹き分ける。「アメイジング・グレイス」「ダニー・ボーイ」など往年の名曲から「みかんの花咲く丘」「ふるさと」など日本のメロディーなどドラマ音楽まで幅広い。

フレンズ vol.36
小林 大輔 さん
昭和56年10月2日生 A型

鹿沼市民から愛されている若きアーティスト小林大輔さん。イラストレーターから始まり、抽象画、具象画と時を経るにつれ彼の世界が変化していく作品は、見る人の心を和ませ空想の世界へ誘い出す魅力があります。現在は年4回程個展やグループ展などを開催していますが、鹿沼市内の飲食店では、あちこちで壁に飾られている小林大輔さんの作品に出会えることができます。プライベートでは大のコーヒー好きで一日に20杯も飲んでしまう程大好物のようです。親戚が集まるとコーヒーや日本茶に良く合う杏仁豆腐やレアチーズ、豆乳プリンなどの手作りスイーツを振舞い毎回大好評をいただいているんだとか♪なんと、今年末には自宅でカフェをオープンする予定で、小林大輔さんの作品を眺めながら美味しいスイーツが味わえる日も近いといえます! 今のご期待です! 次回ゲスト☆高橋洋直さん

